

貴社名	具体的取り組み1	愛知目標	行動指針	参考資料
アンリツ株式会社	当社の「生物多様性保全」の考え方を図で表し展開しています。	0	0	http://www.anritsu.com/RefFiles/ja-JP/About-Anritsu/CSR/2014/J-AR2014_39-63.pdf
アンリツ株式会社	社会貢献活動で緑化活動、クリーン活動などを推進しています。	0	0	http://www.anritsu.com/ja-jp/About-Anritsu/CSR/social-contribution.aspx
株式会社 ツムラ	除草剤や殺虫剤などの農薬に頼る現代の農業は、環境に対する負荷が大きいといわれていることから、生薬栽培では、農薬使用に配慮しています。例えば、環境負荷の軽減のため、農薬の使用量が最低限になるように指導しており、近隣の生物への影響が懸念されるため、農薬が飛散しないように細心の注意を払うなど、その種類や使い方を規定し、環境に配慮した管理を行っている	0	0	0
株式会社 ツムラ	生薬栽培の前段階では自生地の調査と種の同定を行います。絶滅危惧種を含む野生植物の調査・研究にかかわる国際的学術雑誌「植物研究雑誌」を80年間以上刊行し、漢方薬の基本となる薬用植物の遺伝子把握に長年取り組んできました。生薬の中には、野生植物の採取に依存しているものがあり、これらの遺伝子の多様性を保全し、持続的な利用を図ることが可能に成ります。	0	0	0
株式会社 ツムラ	生薬の品質は日本薬局方、日本薬局方外生薬規格等の規格に適合しなければ漢方薬の原料生薬として使用することができません。そのためにも、外部形態的特徴・遺伝子鑑定技術に関する研究を行い、これらに基づいて正しい基原の薬用植物を用いて栽培研究を進めています。	0	0	0
横浜ゴム株式会社	千年の杜プロジェクト活動 宮脇方式に基づき潜在自然植生の樹種を工場周囲に混植・密植する活動を2007年から国内外全工場で推進中。弊社100周年にあたる2017年までに全世界であわせて50万本植樹する計画。また各工場では種子採取、苗木の育成を実施、地域の植樹会への無償提供を実施。	0	0	2014年度CSRレポート http://www.yrc.co.jp/csr/index.html
横浜ゴム株式会社	生物多様性保全活動 弊社は周辺河川から大量の水資源に依存して製品を生産している。その結果何らかの環境影響を及ぼしているものと考え、周辺河川流域の生態系を対象に生物層モニタリング調査を実施。地域住民・行政・NPOと協議しながら河川清掃や外来種の駆除などを実施し保全している。	0	0	2014年度CSRレポート http://www.yrc.co.jp/csr/index.html
横浜ゴム株式会社	低燃費タイヤの提供 弊社主力製品のタイヤにおけるCO2排出量のLCAでは使用時が大部分を占める。そこで低燃費タイヤを積極的に技術開発し生産販売している。	0	0	http://www.yrc.co.jp/csr/report2013/environment/commodity.html#a02
横浜ゴム株式会社	天然ゴム農園における生態系調査 重要な原料である天然ゴムの持続可能な使用のために農園における生物層調査を実施している。	0	0	2013年度CSRレポート http://www.yrc.co.jp/csr/index.html
日本製紙(株)	生物多様性に配慮した森林経営 国内に約9万haの社有林、海外に11.6万haの植林地で森林認証を取得している。森林認証制度では、生物多様性保全も審査項目とされており、これを維持することで事業活動における生物多様性保全を実行している。	0	0	http://www.nipponpapergroup.com/csr/download/ CSR報告書2013 p42
日本製紙(株)	干潟の再生 八代工場(熊本県)では、熊本大学、(株)福岡建設と共同で、航路の浚渫土やペーパースラッジ灰などの廃棄物を有効活用した環境材料を開発し、八代港の一角で干潟を再生する実証実験を行っている。	0	0	http://www.nipponpapergroup.com/csr/download/ CSR報告書2013 p44

日本製紙(株)	シマフクロウの保護活動 日本野鳥の会と野鳥保護に関する協定を締結し、北海道根室地方にある約126haの社有林をシマフクロウの保護区に指定した。	0	0	http://www.nipponpapergroup.com/csr/download/ CSR報告書2013 p45
日本生命保険相互会社	平成4年から一ツセイ緑の財団とともに環境や生態系に配慮した多彩な森づくりを実施。【43都道府県187か所 435ha】 当社職員やその家族、地域の方々がボランティアとして参加し、植樹や育樹(下草刈り・除伐等)を行っている	0	0	http://www.nissay.co.jp/kaisha/csr/kankyo/#anc01
日本生命保険相互会社	子どもたちが自然観察等を通じて森に親しみ、大切な森を守るために必要な作業(除伐等)を体験できる場を提供。【H25:86名参加】	0	0	http://www.nissay.co.jp/kaisha/csr/kankyo/#anc01
日本生命保険相互会社	全国の「学校の森(森林体験)」実践校を対象とした「学校の森フォーラム」を平成26年度に開設。自然を活かした体験学習を通じて「生きる力」の涵養を目指す「学校の森」実践校の取組をよりよいものにしていくこと、また実践校を増やしていくことを目的とする。シンポジウムの開催・運営も行う。	0	0	http://www.nissay-midori.jp/people/forum.html
関西電力株式会社	弊社と株式会社環境総合テクノス、株式会社松本微生物研究所の3社が共同で、菌根菌を活用した「樹勢回復手法」と、菌根菌をはじめとする有用土壌微生物を活用した「病害抑制手法」を開発しました。	目標 15	5-2	プレスリリース http://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2010/0430-1j.html
関西電力株式会社	発電所などの大規模緑地では、中期の自然の森づくりを目指して、「エコロジー緑化」を取り入れています。これは、早期に自然に近い森を作るために、その地域に適した食材樹種の苗木を選定して、密植・混植する方法です。当社は1977年に多奈川第二発電所の緑地に初めてこの手法を導入し、今では多くの発電所や地域との連携・交流に活用することを目的として、発電所にビオトープを造成してきました。兵庫県の奥多々良木発電所のビオトープでは、貴重なモリアオガエルの産卵を確認することができました。	目標 15	5-3	CSR Report 2012 p50
関西電力株式会社	発電所などの大規模緑地では、中期の自然の森づくりを目指して、「エコロジー緑化」を取り入れています。これは、早期に自然に近い森を作るために、その地域に適した食材樹種の苗木を選定して、密植・混植する方法です。当社は1977年に多奈川第二発電所の緑地に初めてこの手法を導入し、今では多くの発電所や地域との連携・交流に活用することを目的として、発電所にビオトープを造成してきました。兵庫県の奥多々良木発電所のビオトープでは、貴重なモリアオガエルの産卵を確認することができました。	目標 15	5-3	CSR Report 2009 p44
カシオ計算機株式会社	カシオグループ生物多様性ガイドラインを2011年3月31日に制定。	目標 1	1-1	2014年度 カシオサステナビリティレポート P99 http://www.casio.co.jp/csr/env/biodiversity/
カシオ計算機株式会社	「カシオ環境ビジョン 2050」2050年を見据えた長期的な環境経営方針と、「カシオ環境宣言 2020」2020年に向けた中期的な行動方針 に 生物多様性に関するテーマを設定(2012年4月制定)	目標 1	1-1	2014年度 カシオサステナビリティレポート P88-89 http://www.casio.co.jp/csr/env/vision/
カシオ計算機株式会社	NGO:アースウォッチジャパン 環境センターとCSR推進室共同でCSR活動の一環として生物多様性保全活動(生物種の各種実態調査)に参画し、社会貢献活動を通じた企業イメージの向上を図る。	目標 1	1-1	2014年度 カシオサステナビリティレポート P147 http://www.casio.co.jp/csr/env/communication/
株式会社 荏原製作所	自然体験や社内教育を通じ、生物多様性の保全に関する取り組みを推進しています。2011年5月に「荏原グループ生物多様性ガイドライン」を策定しました。	目標 1	1-1	http://www.ebara.co.jp/csr/communication/community/env-act/biodiversity/
積水化学工業(株)	2030年に向けた環境経営長期ビジョンをよりグローバルな視点から見直しを行った。あらゆる事業活動が自然資本を利用していることを明確にし、事業活動が自然資本へのリターンに貢献していくことを打ち出した。	目標 1	1-1	http://www.sekisui.co.jp/csr/report/index.html 2014CSRレポートp15
日本水産株式会社	環境憲章行動指針に「生物多様性保全」を加えた。	目標 1	1-1	2013年環境報告書P1
(株)日立ソリューションズ	環境方針(サイトEMS行動方針)	目標 1	1-1	http://www.hitachi-solutions.co.jp/company/csr/eco/management.html

株式会社ケーヒン	CO2排出量は2010年度までは2000年度比6%削減目標とし2007年度に目標達成しております。2010年度以降は原単位(売上げあたりのCO2排出量)で2008年度に比べ毎年1%の削減を目標に展開2013年度には9.5%削減を達成	目標1	1-2	2013年環境報告書p7
株式会社 荏原製作所	全従業員が受講する環境教育において、生物多様性の定義、事業活動と生物多様性との関係などについて解説し、従業員への生物多様性への理解を図っています。	目標1	1-2	http://www.ebara.co.jp/csr/communication/community/env-act/biodiversity/
東レ株式会社	2010年12月に東レグループ生物多様性基本方針を制定し、全社員へ周知、各社員が生物多様性の価値を理解し、東レグループとしての行動を認識している。	目標1	1-2	http://www.toray.co.jp/csr/guideline/forsocial/ecofriendliness/fri_012.html
株式会社 東芝	一部のモデル工場を進めるのではなく、グローバル64拠点すべてで2015年までにビオトープを整備することを計画している。その際に、手間や費用を抑えつつも実効性の高い生物多様性貢献活動の簡易手法を策定している。	目標1	1-2	http://www.toshiba.co.jp/env/jp/vison/biodiversity.jhtm 環境レポート2013P17-18
東レ株式会社	東レグループの事業活動と生物多様性との関係性マップを作成し、生物多様性への影響の把握と、生物多様性保全に貢献する製品を特定した。	目標1	3-1	東レグループCSRレポート2013(P69)で公開
日本郵船	当社は船の調達から処分までのライフサイクル全工程が生物多様性に影響を与える可能性があることを認識し、事業活動と生物多様性の関係を示すマップを作成しています。これにより船舶の調達・運航・解体の各段階での生物多様性への影響を把握しています。	目標1	3-1	NYKレポート2014 P56
株式会社ケーヒン	角田市台山の水道事業所の所有地の山を借用し 生態系の調査、植物の生息調査、適切な樹木の伐採と再利用などを実施し、良好な環境保全の持続継続とその利用のため生物多様性の取組み実施	目標1	3-3	2013年環境報告書p28
ルネサス エレクトロニクス株式会社	当社西条工場では、天然記念物であるカブトガニの幼生を育てて毎年放流しています。	目標1	3-3	http://japan.renesas.com/media/ir/library/pdf/csr/2013_csr_all.pdf P24
森ビル株式会社	[ガーデニングクラブ]を組織運営して、地区内住民・周辺住民および在勤者を含めた多様な参加者のもと、ガーデニングの専門家の指導を受けて、地区内緑地、花壇の維持管理を実施している。結果的に参加者およびその関係者から、街の利用者皆さんに広く、我が街意識が広がっているものと感じている。	目標1	6-1	http://www.mori.co.jp/garden/
三井住友海上火災保険株式会社	企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)は、2008年4月に設立され、企業が直面する生物多様性に関する問題について研究しているが、当社はJBIBの会長会社としてJBIBの活動に積極的に参加し、推進している。毎年、このJBIBの特別協力を得て、企業が生物多様性の取組みを行うための啓発活動としてシンポジウム「企業が語るいきものがたり」を開催して	目標1	6-2	http://www.ms-ins.com/company/sustainability/environment/maintenance/index.html

三井住友海上火災保険株式会社	2012年5月、三井住友海上駿河台新館のオープンにともない、新館敷地内に、地域に開かれた環境コミュニケーションスペース「ECOM駿河台(エコムスルガダイ)」を開設した。環境や自然に関するさまざまな情報を発信し、また、環境や自然、社会貢献に関するイベントを開催し、地域の皆様と交流する場として活用している。	目標1	6-2	http://www.ms-ins.com/company/csr/ecom/index.html
三機工業株式会社	当社、大和事業所(神奈川県大和市)に自然の浄化作用を活かしたビオトープ(三機自然環境園)を2005年9月に造成し、地域住民の憩いの場として、また周辺地域の学校の自然観察教育として、多くの方に来訪いただいている。	目標1	6-2	http://www.sanki.co.jp
住友ベークライト株式会社	当社グループは環境負荷物質を低減して生物多様性の保全に寄与することが本業での基本的な取り組みであると認識しています。さらに、経団連生物多様性宣言推進パートナーズに参加し、この宣言に沿って当社で可能な取り組みを行っています。また、2011年度の生態系調査結果にもとづき、2012年から静岡工場	目標1	6-2	環境・社会報告書2014 http://www.sumibe.co.jp/csr/index.html
イビデン株式会社	イビデンの森に関する活動の一環として、従業員、OB・OG、地域住民・学生を対象に参加者を募り、環境保全の体験の場としている。また、新入社員研修の一環としても森林整備活動を取り入れている。	目標1	7-1	http://www.ibiden.co.jp/csr/report/pdf/report13_08.pdf イビデン株式会社 CSRレポート2013 P47
セコム株式会社	社員への啓発活動 社内イントラネットを活用した環境のホームページ・SECOMのECOでは、「生物多様性」についてわかりやすく解説するページを設置したり、クイズなどを出題して社員に興味を持ってもらうよう工夫しています。	目標1	7-1	CSRレポート2013 P32 < http://www.secom.co.jp/corporate/csr/report/download.html >
株式会社ファンケル	生物多様性セミナーを計画的に実施 ISO14001の内部監査・外部監査で浸透度をチェック 森林研修で植樹や間伐体験を通して涵養林保全や	目標1	7-1	http://www.fancl.jp/csr/env/enlighten.html#h30602
株式会社みずほフィナンシャルグループ	グループ全体の社員とその家族を対象とした環境教育として、自治体やNPOと連携し、植樹と森林保全のボランティア、自然観察会を実施。 また、社員1人ひとりに、生物多様性の保全などに繋がる環境宣言をしてもらい、宣言数に応じて、緑化推進地域等に苗木を寄付する活動を2008年度から実施。2012年度までに延べ20万人の社員の宣言を受	目標1	7-1	http://www.mizuho-fg.co.jp/csr/environment/initiative/enlighten/index.html
三井不動産株式会社	当社グループ会社所有の保有林での社員参加の植林研修(1回/年)	目標1	7-1	http://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/csr/2013/worker/nurturing/index.html
三菱電機株式会社	みつびしでんき野外教室 森林や河原、公園、海岸といった自然のフィールドを「教室」に見立て、社員とその家族、地域の皆様が、共に自然を体感し、自然との共生を考え、環境をよりよいものに変えていく行動力を育みます。	目標1	7-1	http://www.mitsubishielectric.co.jp/corporate/environment/policy/biodiversity/class/index.html
東京急行電鉄株式会社	当社は、環境活動や環境負荷低減への意識の底上げを狙いとして、東京商工会議所が主催する「環境社会検定試験(eco検定)」の受験を推奨しており、2008年の第5回試験から合格者に対して受験料の補助を開始し、さらに2011年度からは公式テキスト代も合わせて補助しています。	目標1	7-1	当社「環境報告書2013」サイト(該当ページ) http://www.tokyu.co.jp/csr/tkk_kankyo/kankyo_1_4.html
株式会社アレフ	田んぼの生物多様性を分かりやすく一般の皆様に普及するために、生物多様性に富んだ水田の象徴的な存在の1つである「ふゆみずたんぼ」をモチーフにオリジナルアニメーション「ふゆみずたんぼ」を制作し公開している。(第1回生物多様性アクション大賞でGreenTV賞を受賞)	目標1	7-2	http://www.aleph-inc.co.jp/fuyumizu/index.html http://5actions.jp/award2013/announcement/
株式会社アレフ	北海道でトマト等のハウス栽培の受粉のために輸入されたものが逃げ出して定着し問題になっているセイヨウオオマルハナバチの駆除活動に協力し、年1回弊社のテーマパーク「えこりん村」において北海道と共催で市民参加の駆除行事を開催している。	目標1	7-2	2012年度環境報告書p-15
株式会社アレフ	北海道で理科の教材として移入されたものが放されて札幌周辺を中心に定着し問題になっているトノサマガエルに関し、弊社のテーマパーク「えこりん村」の水田でも多数生息しているため、お客様が参加できるイベントとして駆除活動を行っている。	目標1	7-2	1月0日
いであ株式会社	当社は生物・生態系に関わる調査・解析、対策案の立案等を支援するコンサルティングサービスを提供しており、生物・生態系に関する深い知識を持つ職員が多く所属しています。そこで、これらの職員をNPO法人等の主催イベントに講師として派遣し、生物多様性に関する普及啓発に貢献しています。	目標1	7-2	環境教育の取組事例 http://ideacon.jp/contents/ecology/eoedu/eoedu_index.htm

キッコーマン株式会社	清水公園での「エコ学習」小学生は約2時間、インストラクターと共に公園内に見られる自然の姿を見つめ、触れ、そこに現れているさまざまな命のあり方、尊さを楽しく学びます。それを通して、自然を愛することの大切さを知り、持続可能な社会の実現に向けての基礎的な力が養われれば、と願っています。子供たちからは「季節によって生き物がいろいろな動きをしているのがわかった」など多くの感想が寄せられています。	目標1	7-2	キッコーマングループ環境保全活動事例集2013P72 http://www.kikkoman.co.jp/library/corporate/csr/environment/case/pdf/example.pdf
キヤノン株式会社	1981年4月から30年以上にわたり、ナショナル・ジオグラフィック誌に環境広告「WILDLIFE AS CANON SEES IT」を掲載。絶滅の危機にある野生動物の写真と、彼らが置かれている厳しい生息地の状況や行動特性を広く社会に訴えています。	目標1	7-2	http://canon.jp/ecology/management/biodiversity.html
株式会社ケーヒン	子供の環境に対する意識を変え行動を起こしていくことで社会のお役にたてる活動を継続しています。その取り組みとして2008年度より環境出前学習と受入学習を開始し 2013年度まで24校27クラス 合計617名の学習を実施	目標1	7-2	2013年環境報告書p26
サンデン株式会社	上記「サンデンフォレスト赤城事業所」を活用して、小中学生を対象とした環境教育を実施。また教材として、オオムラサキ、天蚕の飼育を実施。年間約5000名の子供たちが学習している。	目標1	7-2	0
サントリーホールディングス株式会社	貴重な水資源を未来に引き継ぐために、サントリー独自の次世代環境教育「水育」を事業として取り組んでいます。「サントリー天然水」のふるさとで開かれる自然体験プログラム「森と水の学校」には2004年開校以来約15,000名の親子が参加。小学校で先生方と一緒に「出張授業」には2013年までに約780校、約60,000名の児童に参加いただきました。	目標1	7-2	http://suntory.jp/mizu-iku/
株式会社ニコン	生物多様性復元計画「AKAYA(赤谷)プロジェクト」を2005年から日本自然保護協会を通して支援しています。「AKAYA(赤谷)プロジェクト」は生物多様性の復元と持続的な地域社会づくりを進める活動です。ニコンはこのプロジェクトに対して機材の提供や環境啓発ツールの「赤谷ノート」の提供を行っています。	目標1	7-2	http://www.nikon.co.jp/csr/society/earth/akaya-project/index.htm
パナホーム株式会社	創業50周年記念プロジェクトの一環として『パナホームファミリーの森』を、岩手県宮古市と岐阜県高山市に2013年10月に開設。2013年10月1日～2014年9月30日にかけて1年間実施し、お施主さまとパナホーム社員による約10,000本の植樹を目指している。	目標1	7-2	http://www.panahome.jp/company/news/release/2013/0930.html 『パナホームファミリーの森』を岩手・岐阜に開設
リコーリース株式会社	生物多様性保全活動の行動指針となる「リコーリース生物多様性行動ハンドブック」を作成し、社員の意識付けのために携行させている。また、ホームページでハンドブックを公開して生物多様性保全の周知に努めている。	目標1	7-2	http://www.r-lease.co.jp/csr/biodiversity/handbook.html
三井物産株式会社	未来の担い手である子供たちが、持続可能な未来を創る力を育むための『サス学(サステナビリティ(持続可能)学)セミナー』を開催。環境、社会、経済に係わる問題などを、当社の事業活動や環境・社会貢献活動などを事例に様々な角度から広く捉え、昔からの知恵や世界の歴史・文化・考え方を意識しながら、「知る」と「考える」、更に「(発想を)皆に伝える」ことで、未来への責任感、知恵と実行力、チャレンジ精神といった「未来につながる社会を創り出す力」を磨く。	目標1	7-2	http://www.mitsui.com/jp/ja/csr/social/education/child/sasugaku/
三井物産株式会社	主に小学4年生～6年生の児童および中学1年生～3年生の生徒向けに学校での出前授業を全国で行っており、「森のめぐみと森の仕事」をテーマに、森の役割や日本の森林、林業の仕事についてお話ししている。	目標1	7-2	http://www.mitsui.com/jp/ja/morikids/otona/01.html
昭和電線ホールディングス株式会社	里山の保全 工場敷地内の緑地整備のため市に相談したところ里山づくりボランティアを紹介していただき、両者の指導の下整備を行っている。	目標1	7-2	http://www.swcc.co.jp/environment/csr/2013/index.html

昭和電線ホールディングス株式会社	Kids ISO 地域の小学校へ出前授業を実施	目標1	7-2	http://www.swcc.co.jp/environment/csr/2013/index.html
森ビル株式会社	「街育」と称して年間で1,000名の未来を担う子どもたちに、弊社の待ちづくりにおける環境・安全・文化という3つのミッションをどのように具現化しているかを、六本木ヒルズ等の現場で体感してもらっている。環境面では屋上緑化・都心の田んぼ・生物多様性に配慮した緑地を見て、触って、感じてもらっている。	目標1	7-2	http://www.mori.co.jp/machiiku/
前田建設工業株式会社	・生物多様性に関する教育 当社では、2013年度に「MAEDA生物多様性ガイドライン」を策定し、生態系保全活動を着実に推進しています。特に、生態系と対峙する機会が多い建設現場では、生態系保全活動を正しく理解し、実践することが重要と考えています。2013年度は、現場に所属する社員を中心に、保全活動への理解を深めることを目的として、ガイドラインの内容解説と活動事例の説明を全支店で実施しました。	目標1	7-2	CSR報告書2014 p47-48
株式会社損害保険ジャパン	「SAVE JAPA プロジェクト」 保険契約者がWeb約款を選択することにより、当社が環境NPOに寄付を行い、当該NPOと協働で、地域の希少生物種と触れ合う参加型の環境保全活動を開催。4年目に入り、参加市民述べ18,000人以上。	目標1	7-2	http://savejapan-pj.net/
東京海上日動火災保険株式会社	環境啓発活動の一環として、「みどりの授業～マンゴローブ物語～」を実施。社員・代理店等がボランティアで講師となり、小学校・特別支援学校を訪問し、マンゴローブ植林と制服の再利用を題材に「地球温暖化防止・生物多様性」をテーマとした授業を行っている。2011年度までに、全国で延べ約510の小学校・特別支援学校で実施し、約36,000名の児童・生徒の皆さんに対して授業を実施した。	目標1	7-2	http://www.tokiomarinehd.com/social_respon/contribute/protection.html
株式会社 東芝	生態系サービスの中でも「文化的サービス」への貢献に特化して展開している。従業員とその家族や工場周辺の地域住民の皆様と一緒に取り組むことで、生物多様性の主流化を加速させることも企図している。	目標1	7-2	http://www.toshiba.co.jp/env/jp/vison/biodiversity_j.htm 環境レポート2013P21
日立建機株式会社	日立建機ティアは①「甲賀市エコフェスタ&学びの体験広場」(木パレットの資源リサイクル工程を紹介)、②「納涼祭」(植物由来の廃油を一定の割合で混入した燃料(BDF)で動くBDFフォークリフトの燃料として地域住民から菜種油などを回収)、③「ものづくりのまち甲賀再発見ツアーの工場見学」(環境取り組みをメインテーマとした工場と製品の紹介)などを通じた地域への環境啓発活動を推進しています。	目標1	7-2	甲賀市エコフェスタ&学びの体験広場に初参加
日立建機株式会社	環境教育を通じて地域貢献・環境啓発を目的として日立建機は国内外でエコスクール・出前授業を展開しています。日立建機は浦幌町教育委員会・浦幌町地域子ども会育成連絡協議会主催「少年リーダー養成講習会」一環としてエコスクールを開催しました。日立建機(中国)有限公司を始めとする中国のグループ会社では上海市小学校と合肥市幼稚園をそれぞれ対象に環境出前授業を実施、従業員とその家族を対象に環境教育を実施しました。	目標1	7-2	環境学習エコスクール
株式会社日立国際電気	放送カメラ、監視カメラの使用時の環境負荷を軽減し、生物多様性への意識向上に貢献している。	目標1	7-2	http://www.hitachi-kokusai.co.jp/csr/creatures/index.html 生物多様性を考える
トヨタ自動車株式会社	「トヨタ生物多様性ガイドライン」に沿った主要な生物多様性取り組み事例	目標10	4-1	http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/report/er/ 「地球環境に寄り添って2013」20～21ページ
スズキ株式会社	「先進環境技術の追求」 スズキは、環境保全に貢献する先進技術を「Suzuki Green Technology」と位置付け、低燃費・軽量化・低排出ガスなど、小さなクルマに適した環境技術の追求に取り組んでいます。そして、お客様の便利で楽しいカーライフの実現を目指します。	目標10	5-2	スズキ環境・社会貢献ホームページ (Suzuki Green Technology) http://www.suzuki.co.jp/about/csr/technology/

タキロン株式会社	生分解性プラスチック技術を応用したサンゴ群集再生実験の取組	目標10	5-2	環境・CSR報告書2013P12
日本郵船	当社は1982年から約30年間、地球規模の温室効果気体の分布と変動の実態を明らかにするための東北大学の研究に、日本-オーストラリア間、および日本-北米間を往復している2隻のコンテナ船を提供し、海上での大気採集に協力しています。これらの観測から、北半球と南半球で温室効果ガスの濃度に違いが見られ、濃度勾配は季節や年によって変動することが明らかになりました。今後も東北大学の研究、調査	目標10	6-1	NYKレポート2014 P56
凸版印刷株式会社	2014年3月竣工の群馬センター工場の緑化計画は、土地開発における生物多様性配慮の社内規定により、第三者評価を実施し、都市緑化機構が認定する社会貢献緑地「都市開発版SEGES」の認定を受けました。	目標11	3-1	TOPPAN CSRレポート2013 P40 「生物多様性保全への取り組み」
近畿日本鉄道株式会社	伊勢志摩国立公園の英虞湾にある、「ホテル近鉄アクアヴィラ伊勢志摩」において、環境省、漁業者等と協働して沿岸休耕地に海水を導入して干潟再生の取り組みを進めている。生物や環境について定期的に調査するほか、地元向けの自然観察会(干潟いきもの観察会)や、アオサノリ収穫体験等を開催している。	目標11	3-2	CSRレポート P.44 http://www.kintetsu.jp/kouhou/corporation/report_csr.html 参考資料 (アオサノリ) http://chubu.env.go.jp/to_2014/0401a.html (いきもの観察会) http://chubu.env.go.jp/to_2013/0805a.html
株式会社フジクラ	2010年11月に東京・木場の当社本社横に創設されたビオトープとガーデンの両方の機能を持つ地域コミュニティのための自然空間を創設。広さは2200m ² で2つの池やそれを繋ぐ小川、浮島、遊歩道などがあり、数百年前の武蔵野台地の豊かな森や林を再現。「フジクラ 木場千年の森」と命名。	目標11	3-3	http://www.forest1000.fujikura.jp/
愛知製鋼株式会社	社有地の中新田緑地帯に落葉広葉樹の森を形成し、カブトムシをはじめとする生き物が自然のサイクルの中で暮らし続けていける環境を創出するために「カブトムシの住む森づくり」を活動展開中。「どんぐり」を拾い社内で苗木を育成。従業員や家族200名で1500本の苗木を植樹する「植樹祭」を開催し森を育成、拡大中。	目標11	3-3	1月0日
愛知製鋼株式会社	「森林育成ボランティア」を社内で募り、下記の2つの活動を継続取組中。 ①2006年よりNPO法人「緑の挑戦者」と連携して木祖村(長野県)で森林間伐実施。(2回/年) ②2012年より豊田市の森林ボランティアに参加し、森林間伐実施。(2回/年)	目標11	3-3	1月0日
三菱電機株式会社	里山保全プロジェクト 2007年10月から、事業所周辺の公園や森林、河川などの「身近な自然」を回復する活動「里山保全プロジェクト」を実施しています。	目標11	3-3	http://www.mitsubishielectric.co.jp/corporate/philanthropy/case/field/ecology/satoyama/index.html
株式会社日立国際電気	富山市「企業の森づくり」に参画、工場近隣の2ヘクタールの市有地を企業の森とし、従業員のボランティア活動により、間伐、下草刈り、遊歩道整備を行い、里山として育てている。	目標11	3-3	http://www.hitachi-kokusai.co.jp/csr/creatures/index.html 生物多様性を考える
いであ株式会社	自然環境に関わる技術コンサルタントとして、生物多様性上重要な土地を特定し、効率的に保全することを目的とした、生物・生態系に関する統計モデルの技術開発等を行っています。	目標11	5-3	GIS環境解析によるクマタカ営巣可能性評価システム (http://ideacon.jp/contents/technology/ecology/e1-08_hawk-eagle.htm)
清水建設株式会社	他地域の植栽樹木による遺伝的なく乱、遺伝的多様性の減少を防ぐため、植栽によく使われる3種の樹木(イロハモミジ、ヤマザクラ、ヤブツバキ)を対象として、中部大学応用生物学部と共同で、遺伝子解析による判別手法を開発。植栽樹木の由来調査(スクリーニング)に基づく供給体制やトレーサビリティの確立を目指している。	目標11	6-1	http://www.shimz.co.jp/csr/environment/report/report2014.html シミズCSR報告書2014 p42

キヤノンマーケティング ジャパン株式会社	国内13地域で、環境NPOなどと連携し、森づくりや山村での棚田・干潟の保全などに取り組む「未来につながるさとプロジェクト」を展開しています。2013年は35回のボランティア活動を実施し、842名の従業員と家族が参加しました。	目標11	7-1	http://cweb.canon.jp/csr/furusato/
小田急電鉄株式会社	クリーンキャンペーンの実施	目標11	7-1	http://www.odakyu.jp/csr/environment_report/2013/4/
サンデン株式会社	2002年に稼働した「サンテンノオレスト赤城事業所」において、希少植物の移植、環境モニタリング調査を実施するとともに、民間初最大規模の「近自然工法」で造成。また植栽は地域固有の樹種を選択して実施。生物多様性の推移を3年毎にモニタリング調査を原料部会で新規原料の選定。深海鮫から栽培できるオリーブ、サトウキビ由来原料に代替。サケなど頭部で廃棄されていた部分を活用してサプリメント原料に活用。アルガンオイル(先住民の女性支援や植樹)を	目標12	3-1	0
株式会社ファンケル	原料部会で新規原料の選定。深海鮫から栽培できるオリーブ、サトウキビ由来原料に代替。サケなど頭部で廃棄されていた部分を活用してサプリメント原料に活用。アルガンオイル(先住民の女性支援や植樹)を	目標12	3-1	http://www.fancl.jp/csr/env/biodiversity.html
株式会社滋賀銀行	「カーボンニュートラルローン未来よし」による琵琶湖の固有種・絶滅危惧種の保護・育成・放流活動。	目標12	3-1	1月0日
株式会社滋賀銀行	「ピワマス遡上プロジェクト」 11-3月まで、役職員の家庭の冷蔵庫で孵化、育成、した稚魚を地元の川へ放流する活動。	目標12	3-1	1月0日
住友商事株式会社	・マダガスカル鉱山開発にあたっては、国際NGOと協働してBBOP(ビジネスと生物多様性オフセットプログラム)を策定し、希少動物のための緩衝地帯設定や鉱石運搬パイプラインのルート迂回など絶滅危惧	目標12	3-1	http://www.sumitomocorp.co.jp/files/user/doc/csr/report/env2013j_12.pdf
清水建設株式会社	兵庫県が朝来市に建設する洪水調整などを目的とする与布土ダム建設工事では、周辺に生息するクマタカやオオサンショウウオなど貴重な動植物などの生態への影響を軽減するため、仮設備のアースカラー塗	目標12	3-1	http://www.shimz.co.jp/csr/environment/report/report2013.html シミズCSR報告書2013 p33
前田建設工業株式会社	・希少生物の調査と移植 当社は東日本大震災の復興工事として、岩手県上閉伊郡大槌町のまちづくりを担当している。整備面積30haという大規模整備事業であるが、工事区域内に「ミズアオイ」「カワヂシャ」「タコノアシ」といった、岩手県レッドデータブックに記載されている希少生物の棲息が判明した。そこで、専門家の指導のもと調査を行い、適切な場所への移植を実施した。	目標12	3-1	CSR報告書2014 p47-48
日本精工株式会社	工場の敷地内に生息・生育している貴重な動植物(レッドデータリスト掲載種)について、保護しながら、毎年生息・生育状況をモニタリングしている。	目標12	3-1	2013年CSR報告書
株式会社 東芝	工場敷地を利用して周辺に生息する希少な動植物の生息域外保全を実施している。企業の工場はセキュリティが確保されているため第三者による盗掘・乱獲や天敵・侵略的外来種による食害の恐れがないことから世界中の拠点に展開しており、各国で多種多様な絶滅危惧種の保護・人工増殖を進めている。	目標12	3-2	http://www.toshiba.co.jp/env/jp/vison/biodiversity.jhtm 環境レポート2013P20-21
サントリーホールディングス株式会社	公益信託「サントリー世界愛鳥基金」は、新たな助成部門として「水辺の大型鳥類保護」部門を創設し、コウノトリ、トキ、ツルなど水辺の大型鳥類の保護活動を行っている団体への助成を通じて、水田や湿原など日本の豊かな水辺の環境保護をいっそう推進していきます。	目標12	3-3	http://www.koueki-suntory-aityou.jp/gaiyou/sikum.html
パナホーム株式会社	千里本社ビル(大阪府豊中市)横に、緑化ゾーン「つながりのひろば」を開設。在来種を中心とした植栽や、ビオトープを設置。絶滅危惧種を保全し、地域の小学生を対象とした環境教育の場としても活用している。大阪府、豊中市、研究機関、大学と協定を結び、生物多様性保全活動をすすめている。	目標12	3-3	http://www.panahome.jp/company/news/release/2013/0419.html 本社ビル敷地内に『つながりのひろば』を開設
王子ホールディングス	猿払イトウ保全協議会活動を通じてのイトウ保護	目標12	3-3	http://www.sarufutsu-icc.gr.jp/index.html
関西電力株式会社	兵庫県豊岡市では、人工飼育された国の天然記念物コウノトリの人工放鳥が行われています。当社は、放鳥されたコウノトリが電線に衝突してけがをしないように、電線などにカラーリングを取り付けて送電線の視認性を高め、衝突を防止する対策を施しています。	目標12	3-3	環境レポート2013 http://www.kepco.co.jp/corporate/kankyuu/report2013/safety/region/seibutu02.html

住友商事株式会社	・ロシアでの森林経営においては、持続可能な伐採方法の採用、生態系に配慮した開発方法により、絶滅危惧種の保護に貢献。	目標12	3-3	http://www.sumitomocorp.co.jp/csr/environment/biodiversity/cs02/
大成建設株式会社	○ヤマネの巣箱づくり 清里において、NPOと連携してヤマネの保護活動を実施。当社社員及び家族により巣箱作りを年1回実施。毎回30～50名ほどが参加している。	目標12	3-3	コーポレートレポートデータ編P24 http://www.taisei.co.jp/about_us/csr/corp_report/2014/ebook02/_SWF_Window.html
株式会社 大林組	技術研究所の雑木林で絶滅危惧種「キンラン」の観察会を開催しました。当社は、技術研究所(東京都清瀬市)の敷地内に、「生物多様性保全につながる企業のみどり100選」に認定された雑木林を保有しています。林内には国内絶滅危惧種のキンランやギンランなどが多数生育しており、これらを保全するための研究を続けています。キンランが開花した5月には、地域の自然保護団体の方々約70人を招き、観察会を開催しました。	目標12	3-3	http://www.obayashi.co.jp/uploads/File/ir/report/2013/ir2013_15.pdf
東京急行電鉄株式会社	当社は、川崎市宮前区の開発で、従来の貴重な動植物の生息環境と景観を保全・回復した生物多様性保護モデル公園「宮前美しの森公園」を整備し、公園の管理主体の地域住民、NPO法人「鶴見川流域ネットワーク」に協力し、クリーンアップなどの実施団体として参加しています。	目標12	3-3	当社「環境報告書2013」サイト(該当ページ) http://www.tokyu.co.jp/csr/tkk_kankyo/kankyo_9.html
日本製粉株式会社	天然記念物である『トキ』の保護活動を支援するため、トキのロゴいりスパゲッティを販売し、売り上げの一部を『新潟県トキ保護募金』に寄付金として贈呈しました。	目標12	3-3	2013年社会・環境報告書(2013年10月発行) http://www.nippon.co.jp/csr/report/index.html
王子ホールディングス	内外に所有する森林において、絶滅危惧種(高山植物、稀少魚類イトウ、稀少鳥類キウイ、ムトン等)、稀少植物(スズラン)の保全、再生活動をNPOと協働で推進している。	目標12	6-1	”企業行動報告書2013”;P40、41
日本ケミコン株式会社	山形県の事業所にて県の保護チョウであるチョウセンアカンジミが幼虫時代に食物とする「デワノネリコ」の木の植樹に力を入れ、保護活動を行っている。	目標12	7-2	環境報告書
東レ株式会社	①東レでは、従来より地域の植生を考慮した「鎮守の森方式」にて工場緑化活動を全社的に推進している。 ②2012年に従来の緑化方針を発展的に改訂し、「東レグループ緑化基本方針」として制定した。	目標14	1-1	東レグループCSRレポート2013(P68)で公開
株式会社ファンケル	フェアトレード商品の販売と売上の一部をNPOを通し現地 子供達の教育支援に活用 営業ツール(情報誌等)は、FSC認証紙やベジタブルインクを活用	目標14	2-2	http://www.fancl.jp/csr/fairtrade/
DIC株式会社	DIC総合研究所内に緑豊かな3万坪の庭園に100種以上の草花や樹木が配され、自然の色彩を季節ごとに楽しめるフラワーガーデンを庭園の一画に造成し、自然の色彩を楽しんで頂いています。庭園では里山の	目標14	3-1	http://www.dic-global.com/ja/csr/environment/biodiversity.html
セコム株式会社	「セコムの食」の取り組み 「セコムの食」の生産者の方々はそれぞれ生物多様性に配慮した取り組みを行っています。そうして生産された食品の販路を提供し、作り手の思いをお客様へ余すことなく伝えることが、セコムの食の役割で、作り手を支援していくことにつながります。	目標14	3-2	CSRレポート2013 P38 < http://www.secom.co.jp/corporate/csr/report/download.html >
株式会社 大林組	当社グループの大林不動産が保有する「oak omotesando(オーク表参道)」の屋上庭園において、鳥や虫が集まって来る地域本来の植生を再現しました。生物多様性に配慮した緑地として、公益財団法人日本生態系協会から屋上緑化単独では初となるJHEP認証を取得しました。	目標14	5-2	http://www.obayashi.co.jp/uploads/File/ir/report/2013/ir2013_15.pdf
森ビル株式会社	アークヒルズ・六本木ヒルズでは「ヒルズマルシェ」と称した朝市を定期的実施運営し、各地の無農薬野菜などを中心に、たくさんの農産物が生産者から消費者へと手渡されて、自然の恵みに感謝する気持ちを通じて、農業に携わる人々と都市に暮らす人々がつながっていきます。	目標14	6-1	http://www.arkhills.com/marche

セコム株式会社	エコツアーの推進 セコムグループ社員の福利厚生を担当する株式会社ワンダードリームと協力して社員向けの「エコツアー」の紹介の取り次ぎを行っています。このエコツアーをさらに推進するため、社内イントラネット上に特集「エコツアーに出かけよう」設置しました。	目標14	7-1	CSRレポート2013 P38 < http://www.secom.co.jp/corporate/csr/report/download.html >
小田急電鉄株式会社	「小田急沿線 自然ふれあい歩道」の開設	目標14	7-1	http://www.odakyu.jp/walk/index.html
小田急電鉄株式会社	自然観察会、野鳥観察会の実施	目標14	7-1	http://www.odakyu.jp/csr/environment_report/2013/4_1/
積水化学工業(株)	生物多様性の評価ツール「土地利用通信簿」を活用し、国内すべての生産事業所・研究所で生物多様性調査を行った。その結果、土壌の質や化学物質の適正管理については評価が高い反面、外来生物に対する対策や屋上緑地などの評価が低いことがわかった。	目標15	3-1	http://www.sekisui.co.jp/csr/report/index.html 2014CSRレポートp22
トヨタ自動車株式会社	「森林保主・植林活動」 〔国内事例〕▽トヨタの森、▽トヨタ白川郷自然学校 ▽豊森なりわい塾、▽トヨタ三重宮川山林 ▽工場の森づくり活動 〔海外事例〕▽フィリピン熱帯雨林再生プロジェクト ▽中国砂漠化防止プロジェクト、▽高	目標15	3-3	http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/feature/forest/ 冊子「トヨタの森づくり」
トヨタ自動車株式会社	「トヨタ環境活動助成プログラム」 ▽2000年度から実施。2013年度までの14年間で、 国内外の“生物多様性保全”“地球温暖化防止”に 資するプロジェクト257件を支援。	目標15	3-3	http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/social_contribution/environment/ecogrant/ 「トヨタ環境活動助成プログラム」パンフレット
旭硝子株式会社	森林ボランティア(本社企画):森林保全の大切さや生物多様性への意識を高めることなどを目的として、2008年度からAGCグループ従業員やその家族などが参加する「森林ボランティア活動」を、各地で実施し、間伐や森林整備作業などを行っています。	目標15	3-3	http://www.agc.com/csr/env/act/biodiversity.html
旭硝子株式会社	旭硝子関西工場大塚事業所では、2007年7月に植樹した「旭硝子いのちの森」を大切に育て続けています。 この森づくりでは、地域の生態系に合わせてシイ、タブ、カシなど53種8,300本を植えました。森の中では、蝶やトンボの訪れ、鳥のさえずりを楽しむことができます	目標15	3-3	http://www.agc.com/csr/sitereport/factory_kansai.html
沖縄電力株式会社	近年、沖縄県のサンゴは海水温度の上昇に伴う白化現象、オニヒトデなどによる捕食被害、沖縄県特有の赤土汚染などにより壊滅的なダメージを受けています。 当社は、2004年から「チーム美らサンゴ」プログラムのサンゴ群落再生の趣旨に賛同し、環境活動の場を海中にも広げ、美ら海・沖縄のサンゴの回復に取り組んでいます。2012年には、これまでのサンゴ保全活動	目標15	3-3	環境行動レポート2014 http://www.okiden.co.jp/environment/report2013/sec9/sec93.html

三井物産株式会社	三井物産環境基金の助成先NPOと協働し、狭い谷あいのため機械化が難しく、更に農業の担い手不足などから荒廃した谷津田を無農薬による米作りなどを通じて再生するプロジェクトを茨城県牛久市にて実施。現地の生物調査や生態系の保全に協力しながら、田植え、草取り、稲刈り、さらに収穫した米を使った日本酒づくりという伝統的な食文化まで合わせて知ることのできるプログラムに、グループ企業を含めた社員や家族が多数参加している。	目標 15	3-3	https://www.mitsui.com/jp/ja/csr/contribution/fund/volunteer/index.html
三井物産株式会社	三井物産環境基金の助成先NPOと協働し、狭い谷あいのため機械化が難しく、更に農業の担い手不足などから荒廃した谷津田を無農薬による米作りなどを通じて再生するプロジェクトを茨城県牛久市にて実施。現地の生物調査や生態系の保全に協力しながら、田植え、草取り、稲刈り、さらに収穫した米を使った日本酒づくりという伝統的な食文化まで合わせて知ることのできるプログラムに、グループ企業を含めた社員や家族が多数参加している。	目標 15	3-3	https://www.mitsui.com/jp/ja/csr/contribution/fund/volunteer/index.html
東京海上日動火災保険株式会社	1999年からNGOと連携して「マングローブ植林プロジェクト」を継続実施している。これまで東南アジア等9カ国で約7,993haを植林(13年3月末現在)している。2007年には「マングローブ植林100年宣言」を行い、継続的に生物多様性に係わっていくこととしている。	目標 15	3-3	http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/world/greengift/mangrove/
東京海上日動火災保険株式会社	2009年5月に「環境先進企業との協働の森づくり事業」において、高知県、安芸市、高知東部森林組合と5年間の「パートナーズ協定」を締結し、安芸市の森林整備に協賛している。協定した森林(総計47.1ヘクタール)は「東京海上日動 未来への森」と名付け、間伐体験や地元の方々と交流を行う「間伐体験ツアー」	目標 15	3-3	http://www.tokiomarinehd.com/social_respon/contribute/protection.html
日本製粉株式会社	北海道深川市にあるグループ会社の遊休地を活用するため、10年にわたり植樹を行い整備していきます。(ニッポン四季の森プロジェクト)	目標 15	3-3	2013年社会・環境報告書(2013年10月発行) http://www.nippon.co.jp/csr/report/index.html
日本たばこ産業株式会社	「JTIの森」: 全国9カ所で取り組む森林保全活動。「積丹」では、3河川の流域に点在する長期放置の町有林を行政、識者、住民等と協働で整備・保全し、川や海にも恵みある森を目指している。動植物の生態調査、人工林の間伐等の整備、地域の担い手育成に取り組むほか、漁業が基幹産業で森と関わりが薄い町住民や従業員の啓発に、森林整備や調査体験、保全上重要な水生生物の学習等も実施。沿岸の海藻類減少も課題とされ、上流森林の多様性回復に地域連携で取り組む。	目標 15	3-3	http://www.jti.co.jp/csr/forest/index.html
日立建機株式会社	日立建機(上海)は中国内蒙古自治区のホルチン砂漠内において「日立建機(上海)有限公司の森」(約10ha)造林事業を環境NGO緑化ネットワークへの委託事業として2005年度から行っています。日立建機多田機工は身近な里山、森林の整備を進める目的で、「豊とんぐりの森」の森林保全育成活動に参加し、不法投棄の廃棄物撤去・下草刈り・間伐を行い、広場や散歩道作りなど里山保全活動に努めています。	目標 15	3-3	ホルチン砂漠緑化活動 2012年度活動報告
株式会社 イトーキ	イトーキは2010年より、日本の豊かな森から生まれる地域材の活用を通じて、森と街を共に「いきいき」とさせるソリューション「Econifa(エコニファ)」を展開しています。これは国内産の木材を、デザイン性の高い家具や内装として商品化し、オフィスや都市部の空間に取り入れるというプロジェクトです。	目標 15	4-1	http://www.itoki.jp/sustainability/environment/envreport/variety.html
株式会社セブン&アイホールディングス	日本の森林を育て国産木質材の利用を促進する「セブンの森プロジェクト」。植林活動に限定することなく「健全な森林づくり」に必要な間伐や下草刈り等の森林整備活動を行っています。また、生物多様性の観点から、この森林から得られる間伐材を含む国産木質材をグループ内の店舗資材や商品に使うことで国産木質材の有効活用と森林の活性化を促進しています。グループ従業員やセブン-イレブンオーナーも年間約200名がボランティアで参加。	目標 15	4-1	http://www.7andi.com/dbps_data/material/_localhost/pdf/kankyoku1.pdf http://www.7andi.com/dbps_data/template/_user/_SITE/_localhost/_res/csr/pdf/2014_CSRcr.pdf
三井不動産株式会社	グループ会社所有の北海道約5,000haの保有林を森林の特性に応じ適切に保全・管理し積極的に活用する「森をそだてる・つくる・いかす」のサイクルを構築。「業務用資材(建築資材)としての利用促進」の一環として「スマートフローリングプロジェクト」を始動。「国産材の活用」「生物多様性の保全」「CO2の長期吸収・固定」などが評価されグッドデザイン賞受賞	目標 15	4-1	http://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/csr/2013/special/forest/index.html

日立建機株式会社	日立建機は林野庁が国民運動として進める『木づかい運動』への参加登録企業であり、国産材の積極的な利用を通じて森林整備を進めようとする本運動の普及啓発を支援しています。当社工場内におけるパレットに国産材を利用し、壊れたパレットは荷受場にて補修を実施して、支柱の3本柱が壊れるまで繰り返し使用できます。さらに、廃棄されたパレットは廃棄木材と一緒にチップ化してリサイクルされます。	目標15	4-1	0	
愛知製鋼株式会社	【鉄分の、鉄分の、鉄分の】植物が生長するためには、光合成は欠かせない。その光合成に必要な「鉄分」を安定して安全に供給することで、植物がもつ自然の生命力を向上させる製品。単位面積当たりでの能力強化、アルカリ土壌の多い離島や砂漠での緑化や海洋植物の育成、ヒートアイランド現象の緩和等に貢献出	目標15	5-1	1月0日	0
住友林業株式会社	緑化事業において、生態系の保全レベルを考慮した4つのエリアを定義して、植栽する植物を選択している。特に、住宅の庭づくりを行う「街区エリア」では、地域の生態系に悪影響を与える侵略種を除いて、自生種を中心とした緑化植物を「ハーモニックプランツ®」として提案している。お客様にお渡しするリーフレットにも「自生種」「小鳥が訪れる木」など、生物多様性との関係性を示している。	目標15	5-1	http://sfc.jp/information/society/environment/performance/preservation/service.html CSRレポート2014	
いであ株式会社	自然環境に関わる技術コンサルタントとして、生物多様性を効果的に保全・再生するための技術開発(特にサンゴ礁や藻場再生)を行っています。	目標15	5-3	着床具によるサンゴ礁の再生と創造 (http://ideacon.jp/contents/technology/ecology/e3-12_coral.htm)	
三井不動産株式会社	当社所有の商業施設内にビオトープの設置(豊洲)、生物共生型のカニ護岸パネルと潮だまり護岸を備えた耐震護岸の導入(芝浦)等	目標15	5-3	<豊洲> http://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/csr/2011/environment/operations/green/index.html <芝浦> http://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/csr/2009/environment/design/green/index.html	
森ビル株式会社	アークヒルズ仙石山森タワー・虎ノ門ヒルズでは生物多様性定量評価手法の一つであるJ-HEP認証において「AAA」評価をうけ、竣工後の維持管理においても動植物調査モニタリングを実施し、害虫駆除のための薬剤散布を最小限にとどめたり、生物多様性に配慮した維持管理を実施中です。	目標15	5-3	http://www.mori.co.jp/company/urban_design/environment/urban_nature/c06.php	
株式会社 イトーキ	やまなし水源地ブランドへの取り組み イトーキは『やまなし水源地ブランド推進協議会』に参加、やまなし水源地ブランド製品の企画・開発・販売を行っています。また、2013年度からは、学生主体の現地ワークショップ事業「SCDプロジェクト」を企画・開催し、町村と都市との交流を推進。	目標15	6-1	http://www.itoki.jp/sustainability/environment/envreport/variety.html	
株式会社ニコン	生物多様性保全の取り組みのひとつとして、富士山の森づくりプロジェクトに参画しています。富士山の森林再生の支援を行うとともに社員ひとりひとりがボランティア参加し生物多様性保全への理解を深める場としています。	目標15	6-1	http://www.nikon.co.jp/csr/society/earth/mountain-fuji/index.htm	
株式会社リコー	社員の自主的な環境ボランティア活動の推進。	目標15	7-1	http://www.ricoh.com/ja/ecology/biodiversity/contribution/04_01.html	
東京海上日動火災保険株式会社	2009年度より「お客様とともに環境保護活動を行うこと」をコンセプトに、「Green Gift」プロジェクトを通じて地球環境保護に取り組んでいる。具体的には下記のとおり。 ①お客様に「ご契約のしおり(約款)」等を紙の冊子ではなく、ホームページ上で閲覧いただく「Web約款」等	目標15	7-2	http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/world/greengift/about/	
キッコーマン株式会社	の水質改善プロジェクトにメインスポンサーとして協力しています。 水質の汚染が深刻化し、生態系への悪影響によって多くの生物がその数を減らしてしまった湖を復元するために「貯水量の管理」「水質の浄化」「生態系の復帰」を目標としています。「自然の力をエネルギー源とし、自然の治癒力で浄化する」コンセプトで導入された湖水汲み上げ用の風車は、「キッコーマン風車」と名付けられています。	目標16	6-1	キッコーマングループ環境保全活動事例集P86 http://www.kikkoman.co.jp/library/corporate/csr/environment/case/pdf/example.pdf	

キッコーマン株式会社	2010年KSPTは、シンガポール中心地の国立公園の入 工池造成プロジェクトに賛同し、建設資金の一部を寄 付しました。市民憩いの場となると共に、水生植物が 濾過層の役割を果たし沈殿物が除去され、窒素や磷 のような栄養分を吸収する上に組み込まれ、自然な	目標16	6-1	ase/pdf/example_07.pdf キッコーマ ングループ環境保全活動事例集P8 7 http://www.kikkoman.co.jp/library/c orporate/csr/environment/case/pdf
サンデン株式会社	赤城山で活動している約100団体との連携を目的に 赤城クリーングリーンエコネットワークの設立に主体 的に参画し、現在では地域課題を地域の様々な団体 と協働して解決していく団体、NPO赤城自然塾の一員 として活発に活動している。	目標18	6-1	0
株式会社資生堂	「TSUBAKI」の原料産地「長崎県五島列島」にて、 第3回椿の植林・保全	目標18	7-2	http://group.shiseido.co.jp/csr/env/ diversity.html
KDDI株式会社	KDDIグループのKDDI研究所では、東京大学、九州工 業大学、インド工科大学、WWFインディアと協働して、 河川の棲息環境の変化により絶滅が危惧されている ガンジスカロイルカの保護活動を行っています。産	目標19	3-1	http://www.kddi.com/corporate/csr/ /highlight/technology/
株式会社みずほフィナン シャルグループ	みずほ銀行が民間金融機関で初めて「ビジネスと生 物多様性オフセットプログラム(BBOP)」アドバイザー リーグループに参画。	目標19	3-2	http://www.mizuho- fg.co.jp/csr/environment/biodiversit y/index.html
キッコーマン株式会社	ホテルが汚す原理を利用すると、食品の洗い残し や微生物汚染を手軽に見つけ出すことが可能です。 しかし、この原理を活用するには、これまでは、大量 の生きたホテルからルシフェラーゼを入手することが 必要でした。キッコーマンはルシフェラーゼを人工で	目標19	5-2	キッコーマングループ環境保全活動 事例集P88 http://www.kikkoman.co.jp/library/c orporate/csr/environment/case/pdf /example_07.pdf
株式会社資生堂	KODAの研究	目標19	5-2	http://group.shiseido.co.jp/csr/env/ diversity.html
株式会社 大林組	都市の生物多様性に寄与する環境評価システム「い きものナビ」を開発しました。生物調査を実際に行わ ずに生き物の生息環境を予測可能にし、予測にかかる 時間やコストを大幅に削減します。都市部の緑地に 生息する生き物情報を独自にデータベース化するこ とにより、呼び込むことができる生き物を高い精度で 予測できます。	目標19	5-2	http://www.obayashi.co.jp/uploads/ File/ir/report/2013/ir2013_15.pdf
株式会社 竹中工務店	自然との共生 人にやさしく、人と自然が共生する建築やまちづくりを 目指しています。 2012年3月に「生物多様性活動指針」を定め、設計提 案による先進的なプロジェクトの創出を推進していま す。 植生や生き物の分布を調べることによって生物多様性の	目標19	5-2	コーポレートレポート2014(33頁) http://www.takenaka.co.jp/corp/rep ort/pdf/2014/p31_44.pdf サステナビリティレポート2013(11 頁) http://www.takenaka.co.jp/enviro/es report/pdf/2012/p11_16.pdf
株式会社 竹中工務店	名古屋 蝶の飛ぶまちプロジェクトの取り組み 蝶をシンボルとした人と自然が共生する豊かな環境 を目指した研究です。街中に蝶の飛ぶ自然豊かな環 境を目指し、名古屋市の中心市街地において、商店 街や企業の協力を得ながら敷地等に蝶の誘導を狙い	目標19	5-2	サステナビリティレポート2012(12 頁) http://www.takenaka.co.jp/enviro/es _report/pdf/2012/all.pdf 名古屋 蝶の飛ぶまちプロジェクト
株式会社 竹中工務店	虫を殺すことによるその場しのぎの対処法ではなく、 効果的かつ人や自然環境に優しい複数の技術を組 み合わせた日常管理により、害虫を許容範囲に抑え るIPM(Integrated Pest Management)と呼ばれる手法 が、昆虫制御の分野で注目されている。弊社はIPMの 概念を早くから取り入れ、周囲の自然環境に配慮し、生 物多様性に影響を与えずに建物への虫の侵入を抑え る独自の技術展開プロセス「防虫エンジニアリング」を 確立している。	目標19	5-2	http://www.takenaka.co.jp/solution/ needs/repellent/service05/index.ht ml
株式会社みずほフィナン シャルグループ	みずほ銀行は、エクエーター原則協会、国際石油産 業環境保全連盟、国際金属・鉱業評議会と共同で、 大規模開発プロジェクトが生物多様性に与える影響 を抑える対応策を検討する「異業種間生物多様性イ ニシアティブ(CSBI: Cross Sector Biodiversity Initiative)」の立ち上げに提唱メンバーとして参画	目標19	6-1	http://www.mizuho- fg.co.jp/csr/environment/biodiversit y/index.html
花王株式会社	＜教員フェローシップ＞花王では、特定非営利活動 法人アースウォッチ・ジャパンと協働で、夏休みの一 定期間、次世代育成のキーパーソンである先生方を 海外の野外調査プロジェクトへボランティアとして参加 する機会を提供しています。 環境教育の実践者である先生方の、異文化のなかで の野外調査体験を支援するものです。一流の科学者 のもと、野外調査を通じて得た自らの体験や感動を、 地域の学校で特色ある環境教育の実践に結びつけ	目標19	6-1	http://www.kao.com/jp/corp_csr/so cial_activities_01_00.html
共同印刷株式会社	2010年より毎年、「渡り蝶アサギマダラのマーキング 調査会」を実施している。アサギマダラは1,000km以上 もの距離を移動するといわれる渡り蝶で、その生態は 謎に包まれており、全国で生態調査が実施されてい る。赤城自然園(群馬県)に指導を受け、社員が生物 多様性について考える一助になればと生態調査協力 を継続している。	目標19	6-1	共同印刷HP参照

東京急行電鉄株式会社	当社は、「とうきゅう環境財団」を通じ、主な事業地域を流れる多摩川およびその流域における環境浄化・保全に関する調査研究やその援助、行政への協力、広報活動などを実施しており、研究助成に関しては1975年度～2012年度までに1,152件、総額13億60百万円を助成しています。	目標19	6-1	「東急グループ 学校法人・財団の活動」サイト http://tokyugroup.jp/about/pdf/ja_pamph_foundation_2014.pdf
株式会社ディスコ	中国の現地法人DISCO HI-TEC CHINA CO., LTD.では、不要となった社内書類などの古紙を、リサイクル資源として専門業者に提供しています。焼却処分せずに、攪拌・溶解して再生紙としてリサイクルするため、CO2の排出がありません。また、リサイクルの工程を従業員が見学することで、環境に対する意識向上を図っています。	目標20	2-1	http://www.disco.co.jp/jp/csr/report/index.html 2014年度CSR報告書p20
株式会社 イトーキ	東日本大震災によって被災した木材を復興ボードとして活用する取り組みです。Econifa+REシリーズの売上	目標20	3-3	http://www.itoki.jp/sustainability/environment/envreport/variety.html
リコーリース株式会社	株主と連携した「緑の募金」緑化活動。2004年度から株主優待として株主に贈呈したクオ・カードの使用状況を管理し、使用額の一部を公益社団法人国土緑化推進機構「緑の募金」に1年に1度の寄付。また、2005年から社員がステークホルダーと共に「富士山緑の募金の森造成事業」が行われている富士山一合目で「富士山緑化活動」を実施している。	目標20	3-3	http://www.r-lease.co.jp/ir/midori/
住友林業 株式会社	2012年3月、生物多様性保全と持続可能な利用等の指針とすることを目的に、住友林業グループの生物多様性への認識や姿勢を示す「生物多様性宣言」と、今後の取り組みについて社内的な指針を取り決めた「生物多様性行動指針」、具体的な行動目標を定めた「生物多様性長期目標」を制定した。長期目標については、「愛知目標」を網羅的に検討し、対応する長期目標を事業レベルで具体的に落とし込んだ。	目標4	1-1	http://sfc.jp/information/society/environment/performance/preservation/preservation01.html CSRレポート2014
サントリーホールディングス株式会社	サントリーグループは、自然の恵みに支えられている企業の責務として、持続可能な地球環境を次代へ引き渡すことを目的に、『環境ビジョン2050』を策定するとともに「2020年目標」を設定し、生物多様性の保全を含む自然環境保全・再生の取り組みをさらに積極的に展開していきます。	目標4	1-2	http://www.suntory.co.jp/eco/teigen/vision/
積水ハウス株式会社	当社では造園緑化事業を推進しており、その年間売り上げは約550億円となる(2013年度)。従来、わが国では造園時の植栽樹種に際して「園芸種・外来種」が多用されていたが、当社では2001年より、生態系保全に寄与する地域の「自生種・在来種」を全国約50社	目標4	1-2	http://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/2014/sustainability/csr_2/about/ 【参考】 http://www.sekisuihouse.co.jp/biodiversity/5hon.html
株式会社みずほフィナンシャルグループ	大規模なプロジェクトファイナンスに参加する場合には、エクセーター原則の枠組みに基づき、プロジェクトが地域社会や生物多様性を含め自然環境に与える影響を評価し、環境社会ガイドラインを充足するための	目標4	2-1	http://www.mizuho-fg.co.jp/csr/environment/equator/index.html
王子ホールディングス	国内に19万ha(約650ヶ所)、海外に29万ha(9ヶ国)の森林を所有・管理し、持続可能な森林経営を展開、今後も長期に亘り管理して行く。	目標4	2-1	”企業行動報告書2013”;P34～39
株式会社 イトーキ	イトーキ東京イノベーションセンターSYNQA FSC認証を取得1Fフロアは、RC建築物のオフィスとしては日本で初めてFSCプロジェクト認証・全体認証を取得、1F内装で使用している全ての木材(置き家具を除く)が、FSC認証材または管理された木材として持続可能な森から産出されたものを使用。	目標4	3-1	http://www.itoki.jp/sustainability/environment/envreport/variety.html
キヤノン株式会社	大分キヤノン大分事業所では、2005年の操業以前からこの地に生息していた野生のキジを保護するために、事業所内でキジを飼育し、敷地内の「キヤノンの森」に放鳥しています。2012年は日本キジ飼育のプロから学ぶ「P-Project」(キジ孵化・育雛率向上計画)を発足。キジの放鳥に成功しています。	目標4	3-1	http://canon.jp/ecology/management/biodiversity.html
キリンホールディングス株式会社	「キリン午後の紅茶」は日本がスリランカから輸入している紅茶葉の25%を使用していることから、スリランカの紅茶農園が持続可能な農園認証制度であるレインフォレスト・アライアンス認証を取得する支援を実施している。	目標4	3-1	http://www.kirinholdings.co.jp/csv/env/bioresource/sustainable02.html#tab
キリンホールディングス株式会社	キリンは総合飲料メーカーということもあり、主に二次容器として大量に紙を消費している。これを受けて、紙については、2015年までにその持続性をサプライヤーのアンケート等で確認する目標を立てて実行している。	目標4	3-1	http://www.kirinholdings.co.jp/csv/env/bioresource/sustainable03.html#tab

キリンホールディングス株式会社	極僅かであるがパーム油を使用していることもあり、パーム油については2013年より一次原料全量をグリーンパーム認証で賅っている。二次原料として使っているものも、2015年までには同様の対応をする予定である。	目標4	3-1	http://www.kirinholdings.co.jp/csv/env/bioresource/sustainable04.html#tab
サントリーホールディングス株式会社	サントリーは「水のサステナビリティ」実現のために、「天然水の森」整備活動を基幹事業として取り組んでいます。2013年時点で7,600ha超の面積で森林保全・再生活動を展開しており、2020年までに12,000haに拡大することを目標としています。これは国内自社工場で使用する地下水量を育む面積の2倍に相当します。	目標4	3-1	http://www.suntory.co.jp/eco/forest/
沖縄電力株式会社	低炭素社会を実現する手段の一つとして、太陽光発電システムや風力発電システムを導入した場合の実電力系統への影響把握に関する実証試験を行っています。その中で、沖縄本島において、2012年3月に大規模太陽光発電設備「安部メガソーラー実証研究設備(1000kW)」、2014年3月に風力発電設備「大宜味風力発電実証研究設備(2,000kW×2基)」の運転を開始した。	目標4	3-1	環境行動レポート2014 http://www.okiden.co.jp/environment/report2013/sec7/sec74.html
花王株式会社	<持続可能な原材料調達>花王は、資源制約の問題や生物多様性を含むさまざまな環境問題、人権課題などを踏まえ、持続可能な原材料の調達に取り組んでおり、2014年7月、「原材料調達ガイドライン」を改定しました。花王が扱っている基本原料の一つであるパーム油について、“2020年までに、花王グループの	目標4	3-1	http://www.kao.com/jp/corp_csr/procurement_05.html
共同印刷株式会社	資源の持続性を意識し、環境負荷の低い資材を使ったモノづくりを進めている。環境負荷の低い原材料を優先的に調達しているほか、お客様に対してもこうした資材を使用した印刷物の製作を積極的に提案している。(FSC森林認証取得等)	目標4	3-1	2014年CSR報告書
三井住友海上火災保険株式会社	1984年3月の竣工以来、近隣の環境改善や景観形成に重要な役割を果たしてきた駿河台ビルの屋上緑地は、2013年秋に生物多様性に配慮した緑地として再オープンした。2012年5月に新たに開設した駿河台新館の緑地とともに、いきものと人に配慮した空間、周辺の緑をつなぐ拠点としての役割を果たしている。近隣住民等に菜園も開放しており、情報発信・地域との交流も含めて、生物多様性の保全に取り組んでいる。	目標4	3-1	http://www.ms-ins.com/company/sustainability/environment/afforestation/index.html
住友林業株式会社	事業の中心である「木」について「木材調達理念・方針・行動計画」を設けて生物多様性にも配慮した調達を目指している。2015年度を目標達成年度とした行動計画では、合法性・持続可能性が確認された森林認証材、持続可能な植林木、国内林業の活性化につながる国産材の使用・取扱いを拡大する、など4つの大きな目標を設定して、取り組みを行っている。	目標4	3-1	http://sfc.jp/information/society/social/business_partner/action.html CSRレポート2014
積水ハウス株式会社	住宅建設には大量の木材を使用することから、2006年から住宅に使用する木質建材について、生物多様性への配慮を中心とする持続可能な木材の利用を目的として、国際環境NGOの協力を得て制定した独自の「木材調達ガイドライン」を策定運用している。具体的には約60社の木質建材サプライヤーを対象に、伐採エリアなど木材のトレーサビリティ情報提出を求め、数値化して評価することで改善に導いている。(190字)	目標4	3-1	http://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/2014/sustainability/csr_2/about/ 【参考】 http://www.sekisuihouse.co.jp/biodiversity/fairwood.html
前田建設工業株式会社	・生物多様性評価、取り組みプログラム「HEALIN」の設計への活用 近年、都市部の開発事業などでは生物多様性を意識した緑地の提案が必要とされるようになってきている。そこで、当社では都市緑地における生物多様性の評価や植栽などの設計を支援するツール「HEALIN」を開発し、設計段階での活用と提案を推進している。	目標4	3-1	CSR報告書2014 p47-48
菱洋エレクトロ株式会社	グリーン調達ガイドラインを制定し、グリーン購入を推進している。	目標4	3-1	http://www.ryoyo.co.jp/csr/control.html

株式会社アレフ	レストランで使用のお米の調達において、「生きもの豊かな田んぼ」という規格で、農薬、化学肥料不使用、生産者が田んぼの生きものを調査する、田んぼの生きものに配慮した取り組みを行う、という基準を満たす水田のお米を調達し、使用している。(UNDB-J)の連携事業に認定)	目標4	3-2	2012年度環境報告書p11-12 http://undb.jp/authorization/authorization_year/2014-4/
KDDI株式会社	通常の商用電力に加え、太陽光パネルによる充電、深夜電力により蓄電池に充電された電力を時間ごとに効率よく供給する電力制御技術を用いた「トライブリッド基地局」をau携帯電話基地局に導入。日本全国100カ所に設置。従来の商用電力のみを使った場合より約20%の省電力を実現。また、au携帯電話を一台ずつ手作業によって、基盤、液晶、カメラ、プラスチック、ネジ、鉄、アンテナ、モーター、スピーカーなどから構成される部品を回収し、リサイクルしています。2012年	目標4	4-1	http://www.kddi.com/corporate/csr/environment/low-carbon/ →基地局における消費電力低減と災害対策の取り組み
KDDI株式会社	au携帯電話を一台ずつ手作業によって、基盤、液晶、カメラ、プラスチック、ネジ、鉄、アンテナ、モーター、スピーカーなどから構成される部品を回収し、リサイクルしています。2012年	目標4	4-1	http://www.kddi.com/corporate/csr/environment/recycle/ →携帯電話リサイクルの推進
株式会社ファンケル	青汁の絞り粕を発酵させ地域酪農家に牛のエサとして販売。酪農家より牛糞をケール畑の肥料として活用。中島農法で化学肥料や農薬を低減。愛媛県資源循環優良モデル事業所として認定。発芽米で発生するくず米を鶏のエサに活用。工場で発生する生産水を自社菜園(旧駐車場)の肥料水として活用。	目標4	4-1	http://www.fancl.jp/csr/env/biodiversity.html
小田急電鉄株式会社	鉄道における省エネルギー化やリサイクルの推進	目標4	4-1	http://www.odakyu.jp/csr/environment_report/2013/3/
積水化学工業(株)	連結売上高に占める環境貢献製品売上高比率の拡大に取り組んでいる。2013年度は、太陽光発電システム搭載住宅の好調や環境貢献製品の品目増加によって、売上高比率で42%となった。	目標4	4-1	http://www.sekisui.co.jp/csr/report/index.html 2014CSRレポートp18
東北電力株式会社	当社は、東日本大震災による福島県沿岸部の津波被災地の復旧・復興において盛土材が不足している現状を踏まえ、原町火力の石炭灰を利用して盛土材として活用できることを確認し、地域復興の一助となるよう発電所に製造装置を設置し、製品化(「輝砂」)することとした。	目標4	4-1	東北電力HP http://www.tohoku-epco.co.jp/news/normal/1187417_1049.html
菱洋エレクトロ株式会社	電気使用量、物流燃料使用量の削減によるCO2削減を推進している。	目標4	4-1	http://www.ryoyo.co.jp/csr/contribution_society.html
マツダ株式会社	「エネルギー」や水資源を含む「資源」を重点として生物多様性への影響度軽減のため、商品、生産・物流工程で取り組みを進めている。商品での取り組みは、「自動車の燃費向上(SKYACTIV技術等の開発・導入)」「資源リサイクル推進(リサイクル容易な部品や素材の開発・採用)」、生産・物流工程での取り組みは、「地球温暖化防止(モノ造り革新、省エネルギー生産の取り組み)」「資源の有効活動の推進(リサイクル推進、グリーン調達推進)」など。	目標4	4-1	マツダサステナビリティレポート2014 (P52~54、P70~71) http://www.mazda.com/jp/csr/download/pdf/2014/2014_s_p52.pdf http://www.mazda.com/jp/csr/download/pdf/2014/2014_s_p70.pdf
トヨタ自動車株式会社	「バイオ・緑化新規事業の推進」 ▽緑化事業、▽花卉事業 ▽畜産バイオマス事業 など	目標4	5-1	http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/report/er/ 「地球環境に寄り添って2013」18ページ
沖縄電力株式会社	低炭素社会を実現する手段の一つとして、当社初となる液化天然ガス(LNG)を燃料とした吉の浦火力発電所を運用を開始しました。当該発電所は、LNGを燃料としていることから、他の化石燃料と比べてCO2排出量を削減することができ、硫黄酸化物やばいじんの発生もない、環境に優しい発電設備です。また、当該発電所は、発電効率に優れたLNGコンバインドサイク	目標4	5-2	環境行動レポート2014 http://www.okiden.co.jp/environment/report2013/sec7/sec72.html
いであ株式会社	生物多様性についての専門のコンサルティングサービスを提供する部署を設置し、企業による生物多様性の保全と持続可能な利用について、基本的な考え方や取組の事例について調査・研究を行い、要請があった場合には研修会等での発表、企業への支援業務を行っています。	目標4	6-2	生物多様性についてのソリューション提供を目指して http://www.ideacon.jp/contents/inet/vol31/vol31_wr03s.pdf

(株)日立ソリューションズ	CSR報告書	目標4	6-2	http://www.hitachi-solutions.co.jp/company/csr/report/
三井不動産株式会社	「&EARTH DAY」。当社グループビジョン「&EARTH」と「森をそだてる大切さ」を伝えることを目的としたイベント。NPO法人やプロの音楽家・木工職人・ボランティアの学生などに協力をいただき親子と一緒に楽しく学べるワークショップ形式の「&EARTHmelody(当社グループが所有する保有林の間伐材を利用し、海外における植林／森林保全活動)」。アフリカなどの海外葉たばこ産地では、葉たばこの生産や家庭用の燃料に木材が使われている。植林／森林保全活動では天然林の再生に取り組んでおり、マラウイでは生物多様性保全への効果を検証するため、樹木を中心に調査を実施している。また、持続的な森林の維持管理を推進している。参考：マツダのケルテラ企業の取り組み	目標4	7-2	http://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/csr/2013/special/forest/index.html
日本たばこ産業株式会社	「海外における植林／森林保全活動」：アフリカなどの海外葉たばこ産地では、葉たばこの生産や家庭用の燃料に木材が使われている。植林／森林保全活動では天然林の再生に取り組んでおり、マラウイでは生物多様性保全への効果を検証するため、樹木を中心に調査を実施している。また、持続的な森林の維持管理を推進している。参考：マツダのケルテラ企業の取り組み	目標5	2-1	http://www.jti.co.jp/csr/report/FY2013/pdf/JTG_Sustainability_Report_FY2013_JP.pdf
マツダ株式会社	当社の新工場であるメキシコ工場建設地において十分な環境への配慮をしている。 ・渡り鳥の生息環境を提供するため、工場内に調整池を設け、渡り鳥が飛来、生育できる環境の保護を支援。 ・メキシコで希少とされている成育の遅いメスキートを積極的に保護	目標5	2-1	マツダサステナビリティレポート2014 (P110 メキシコ) http://www.mazda.com/jp/csr/download/pdf/2014/2014_s_p104.pdf
カシオ計算機株式会社	製品系、事業所系における生物多様性の影響度調査を開始し、2015年度までに調達活動を始め、生物多様性影響度調査を削減するための施策を検討し、実行する。	目標5	3-1	2014年度 カシオサステナビリティレポート P96 http://www.casio.co.jp/csr/env/biodiversity/
株式会社ニコン	生物多様性保全、および森林資源の持続可能な利用に配慮した紙の調達を行うことを基本方針とする「紙調達方針」を制定し、調達パートナー等の協力のもと、同方針に沿った紙調達を進めています。2014年からNGOと企業による「持続可能な紙使用のためのコンソーシアム」にも参加しています。	目標5	3-1	http://www.nikon.co.jp/csr/csr-procurement/policy/index.htm
大同特殊鋼株式会社	当社は、ラムサール条約登録湿地クッチャロ湖に社有地を所有しており、「クッチャロ自然の森だいで」と名付けて、環境保全にNPOと共に取り組んでいる	目標5	3-1	http://www.daido.co.jp/csr/index.html 社会・環境活動
東京急行電鉄株式会社	当社は、「東急キャピトルタワー」の周辺で複数年にわたって動植物の生息調査を行い、隣接する日枝神社の樹林とともに地域生態系の保全に寄与する樹種選定および配植を実施しました。日枝神社の丘から連なる立体的な屋上緑化や持続的な緑の維持管理体制の構築を実現しています。	目標5	3-1	当社「ニュースリリース」(2013/10/17発行) http://www.tokyu.co.jp/file/131017-1.pdf
菱洋エレクトロ株式会社	使用済コピー用紙をリサイクル業者に提供し、森林保護及びCO2の削減を推進している。	目標5	3-1	0
菱洋エレクトロ株式会社	植林パルプ配合のコピー用紙使用により森林保護を推進している。	目標5	3-1	0
株式会社 東芝	工場を中心として、従業員の家庭や周辺地域の森林、河川、公園などを結ぶ生態系ネットワークの構築を推進している。従業員の家族や周辺の住民と一緒に取り組むことで意識啓発につながっている。	目標5	3-2	http://www.toshiba.co.jp/env/jp/vison/biodiversity.jhtm 環境レポート2013P19

KDDI株式会社	東京都八王子市の高尾山で環境保全活動を実施。2013年度からの長期的な活動場所として指定。KDDIグループ社員とその家族らがボランティアとして参加し、自然保護団体「高尾グリーン倶楽部」と協同で、ヒノキ林での除伐・間伐、間伐材を利用した木工作业な	目標5	3-3	http://www.kddi.com/corporate/csr/environment/biodiversity/ →高尾山での環境保全活動
イビデン株式会社	岐阜県、揖斐川町、NPO法人揖斐川自然環境レンジャーと「生きた森林づくり」を締結し、東横山内「イビデンの森 東横山」、鶴見地内(イビデンの森 ふじはし)において10カ年計画での持続可能な森林再生活動に取り組んでいます。	目標5	3-3	http://www.ibiden.co.jp/csr/contribution/forest/index.html
キヤノン株式会社	下丸子本社には、法定緑地面積を上回る広大な緑地に、人の干渉がない場合に形成される潜在自然植生種をはじめ、多くの植物が生育しています。また、玉川・矢向・川崎事業所など、都市の貴重なエコロジカルネットワーク形成の役割を担う多摩川周辺の各事業所でも、緑地維持に取り組んでいます。	目標5	3-3	http://canon.jp/ecology/management/biodiversity.html
キヤノン株式会社	2010年5月から自然再生活動「未来につなぐふるさとプロジェクト」を推進しています。この取り組みは、日本各地において、地域ごとの環境NPOと連携しながら、棚田の保全や森づくり、干潟の保全など、美しい「ふるさと」を残すことを目的としています。	目標5	3-3	http://canon.jp/ecology/management/biodiversity.html
キリンホールディングス株式会社	全国14か所で、水源の森活動を、地域の方々やお客様とともに実施している。	目標5	3-3	http://www.kirinholdings.co.jp/csv/env/water/guard.html
スズキ株式会社	「スズキの森」スズキは、林野庁天竜森林管理署と「ボランティアの森」協定を結び、2006年から浜松市北部の「スズキの森」で森林保全活動をスタートしました。2008年からは社員やその家族、友人による植林や下草刈りの作業だけではなく、春にはシイタケの菌打ち体験、秋には収穫祭を行っています。楽しみながら森林保全活動に取り組む仲間の輪が広がっています。	目標5	3-3	スズキ環境・社会レポート2013 (環境への取り組み、森林保全活動) http://www.suzuki.co.jp/about/csr/report/2013/pdf/2013_envj_03_05.pdf
株式会社ディスコ	森林整備への参加(広島) 「ひろしまの森林づくりフォーラム」に参加し、健全な広島の森林を次世代に引き継ぐための活動に力を入れています。2008年度から継続している広島県内の森林整備活動に加え、呉市と協同で創設した「ディスコの森」の草刈り・除伐・枝打ち、枯れた樹木の植え替えなどを継続的にこなしています。	目標5	3-3	http://www.disco.co.jp/jp/csr/report/index.html 2014年度CSR報告書p20
株式会社ニコン	公益財団法人オイスカが取り組む「東日本大震災復興 海岸林再生プロジェクト」に賛同し、支援を行っています。このプロジェクトは津波によって失われた海岸林の再生へ向けて10年計画で取り組む活動です。	目標5	3-3	http://www.nikon.co.jp/csr/society/support-activities/volunteer/coastal-forests/index.htm
株式会社リコー	生物多様性保全のための森林保全プロジェクトをマレーシア、中国、日本(長野、沖縄)、ロシア(沿海州)、ブラジルで現地の人々、環境NGO等と連携して実施。 愛知目標の該当項目は複数(5, 11, 14, 18)⇒ 行動指針は3-3, 6-1	目標5	3-3	http://www.ricoh.com/ja/ecology/biodiversity/contribution/forest_ecosystem.html
ルネサス エレクトロニクス株式会社	当社は、神奈川県・高知県・熊本県で森林保全活動を行っており、年間106トンのCO2吸収を実施している。	目標5	3-3	http://japan.renesas.com/media/ir/library/pdf/csr/2013_csr_all.pdf P36
株式会社 荏原製作所	富士山緑化活動 富士山御殿場口新五合目付近の砂礫地への植樹に協力しています。また、かながわ水源の森づくり事業 水源の森林づくりに参加協力しています。	目標5	3-3	http://www.ebara.co.jp/csr/communication/community/env-act/biodiversity/

花王株式会社	＜みんなの森づくり活動＞花王は2000年より、財団法人都市緑化基金（現：都市緑化機構）とのオリジナル緑化プログラム「花王・みんなの森づくり活動」を行っています。国内で身近な緑を守り、育てる活動と、身近な緑を活用し、子どもたちに緑とのふれあいの機会を創出する活動を支援しています。	目標5	3-3	http://www.kao.com/jp/corp_csr/social_activities_00_00.html
花王株式会社	＜クロマツ防潮林の保全（和歌山工場）＞和歌山工場内のクロマツ防潮林は、江戸時代初期に紀州藩により築造されたもので、工場内緑化のシンボルとして除草・植樹・消毒などを行い大切にしてきました。新たに、防潮林を生物多様性への貢献という切り口で見直し、社員や地域社会の環境コミュニケーションの場	目標5	3-3	http://www.kao.com/jp/corp_news/2014/20140422_001.html
古河機械金属(株)	当社グループでは2009年より社内ボランティアを募集し、栃木県日光市足尾町の社有地に桜千本植樹を目指す「足尾さくら植樹会」を年1回開催しており、2014年3月に第5回の植樹会を開催しました。（2011年は東日本大震災の影響により中止）参考資料：「CSR報告書2013」	目標5	3-3	http://www.furukawakk.co.jp/pdf/CSR/2013.pdf
三機工業株式会社	SANKI YOU エコ貢献ポイント：省エネ提案の採用実績に応じて、そのCO2削減量を1トンあたり100円に換算して半期毎に集計し、環境保全活動（植林）のための寄付を実施している。	目標5	3-3	http://www.sanki.co.jp
三菱電機株式会社	どんぐりプロジェクト 東日本大震災の被災地に寄り添い、継続して復興を応援する取り組みとして2013年2月から被災地のどんぐりを育てるプロジェクトに参加。	目標5	3-3	http://www.mitsubishielectric.co.jp/corporate/philanthropy/disaster/project_donguri/index.html
三菱電機株式会社	生きもの観察 工場とその周辺の自然環境とのかかわりを理解する活動。	目標5	3-3	http://www.mitsubishielectric.co.jp/corporate/environment/policy/biodiversity/observation/index.html
三洋化成工業株式会社	京都モデルフォレスト協会の趣旨に賛同し、京都府和束町で「三洋化成の森」づくり活動を行っている。資金提供による間伐と、従業員等によるボランティアで舗道整備・植樹などを実施。	目標5	3-3	「三洋化成の森」活動： http://www.sanyo-chemical.co.jp/csr/bosage.html CSRレポート2014 P32,45 http://www.sanyo-chemical.co.jp/csr/report.html
出光興産株式会社	弊社の全製油所・工場の敷地内にある緑地について（財）都市緑化機構が実施する「社会・環境貢献緑地評価システム」を導入し、生物多様性保全の視点を取り入れた緑地管理を推進しています。	目標5	3-3	http://www.idemitsu.co.jp/csr/environment/biodiversity.html
新日鐵住金株式会社	当社は、「自然と人間の共生」を目指して、国際生態学センターの宮脇昭所長（横浜国立大学名誉教授）のご指導のもと、製鉄所・製造所の「郷土の森づくり」を推進してきました。これは、その土地本来の自然植生を調べ、慎重に樹木を選定し、ポット苗をつくり、造成したマウンドに地域の方々と社員が一つひとつ丁寧に植えていくもので、日本で初めての生態学的手法に基づく企業による地域の景観に溶け込む森づくり	目標5	3-3	http://www.nssmc.com/csr/env/forest.html 環境・社会報告書2014 p26
清水建設株式会社	都市再生と共進し、愛知県の都市部を対象に、エビ物のすみやすい環境のつながりを“見える化”したデータベース「UE-Net Aichi」を開発。（UE-Net自体は清水建設の単独開発）重要な環境のつながりや、その質の違いを可視化するシステムで、敷地単体から広域な緑地整備提案まで幅広く活用可能。今後、国土レベルの生物多様性戦略を実現する都市緑化に向けてデータベースを拡充する計画。 ※UE-Net\ユーイーネットは清水建設の登録商標です。	目標5	3-3	http://www.shimz.co.jp/csr/environment/report/report2013.html シミズCSR報告書2013 p33
大成建設株式会社	〇都市部での自然の森づくり 「都市を再生しながら自然を再生する」という開発コンセプトを具現化した、都市開発における新たな試み。ビル開発の敷地の約3分の1にあたる約3,600m ² の森を大手町に創出。	目標5	3-3	コーポレートレポートP24 http://www.taisei.co.jp/about_us/csr/corp_report/2014/ebook01/_SWF_Window.html
東北電力株式会社	東日本大震災の津波により、太平洋沿岸の「海岸防災林」は壊滅的な被害を受けた。こうした中、その土地本来の色々な種類の木々を植える「森の防潮堤づくり」を進められており、当社社員もボランティアによる「種から育てて、被災地に植樹する」活動を推進して	目標5	3-3	東北電力HP http://www.tohoku-epco.co.jp/enviro/bousairin/index.html
凸版印刷株式会社	モデルサイト（深谷工場他）の敷地内緑地で生物多様性保全活動を開始し、「野鳥の楽園づくり」をテーマに社員とその家族が、保全活動を体験しています。	目標5	3-3	TOPPAN CSRレポート2013 P40 「生物多様性保全への取り組み」 TOPPAN CSRレポート2014 P40 「生物多様性保全への取り組み」

日本通運株式会社	鳥取県日南町、山形県飯豊町、静岡県韮山の全国3箇所に「日通の森」を設け、それぞれの地域で年2~3回の森林育成活動を実施し、生物多様性保全の重要性を従業員に対し伝えている。	目標5	3-3	CSR REPORT 2014 P34 http://www.nittsu.co.jp
日本通運株式会社	北海道白糠町の社有林にて、絶滅危惧種「シマフクロウ」の生息地拡大に向けた活動を実施している。	目標5	3-3	CSR REPORT 2014 P34 http://www.nittsu.co.jp
(株)日立ソリューションズ	里山保全活動(地域との共生、生物多様性保全活動)	目標5	3-3	http://www.hitachi-solutions.co.jp/company/csr/eco/green.html
マツダ株式会社	マツダが命名権を取得している広島市民球場(愛称: MAZDA Zoom-Zoomスタジアム広島)へ、ナイター照明用として環境に配慮したグリーン電力(再生可能エネルギー)を導入している。	目標5	3-3	マツダサステナビリティレポート2014 (P85 マツダスタジアムでの社会貢献活動)
株式会社八十二銀行	職員による森林整備活動「八十二の森」活動を長野県内5箇所で実施し、間伐・除伐・下草刈り・食害防止ネット巻きを行いました。25年度は8回の活動で780名の役職員が参加しました。	目標5	5-3	http://www.82bank.co.jp/ct/other00010700/ki_pdf_2014csr_report.pdf 2013年CSRレポートp39
株式会社八十二銀行	平成25年5月に、上伊那郡中川村陣馬形山旧陣馬形牧場にて第1回八十二周年記念ボランティアを実施いたしました。役職員・家族176名が参加し、ミズナラの苗3,000本の植樹や鹿の食害防止のためのネット「協働の森づくり」	目標5	5-3	http://www.82bank.co.jp/ct/other00010700/ki_pdf_2014csr_report.pdf 2013年CSRレポートp39
(株)会社損害保険ジャパン	日本国内の市町村5カ所と森林協定を結び、地域の市民団体と協働で森づくりを行い、気候変動の緩和、災害に強い国土づくりを推進し、生物多様性保全の	目標5	7-1	http://www.nksj-hd.com/~media/hd/files/csr/communications/pdf/2013/report2013_5.pdf
新日鐵住金株式会社	当社は、近年環境問題として全国的に危惧されている“海の磯焼け”の改善に向けた「海の森づくり」も推進しています。“磯焼け”現象の原因のひとつに、森林の伐採や川の上流の開発などによって、河川を通じてコブやワカメなど藻類の生育に必要な“鉄分”の	目標6	3-1	http://www.nssmc.com/csr/env/sea.html 環境・社会報告書2014 p26
日本水産株式会社	海外の関係会社において、水産物を取り扱う会社は持続可能な漁業認証品(MSC認証品)の取り扱いを増やしている。	目標6	3-1	2013年環境報告書P6-7 2012年環境報告書P6-7
日本水産株式会社	ぶり養殖用の飼料に低魚粉飼料を採用し、過剰漁獲による減少が懸念されている餌魚の使用量を低減。	目標6	6-1	2013年環境報告書P4-5 2012年環境報告書P8-9
王子ホールディングス	適切に管理された森林から伐採された木材を原料とすることが認証された、森林認証製品(印刷用紙、衛生紙等)を製造・販売している。	目標7	3-1	”企業行動報告書2013”; P60、61
三井住友海上火災保険株式会社	インドネシア林業省と連携し、2005年からの6年間に、不法伐採により荒地化した野生動物保護林350haに約30万本を植林した。2011年からは、再生した森林を永続的に保護するために、地元住民の経済的自立を目的とした農業技術指導、小学校の先生への環境教育を行っている。森林再生を可能にする「持続可能な地域	目標7	3-1	http://www.ms-ins.com/company/sustainability/environment/rainforest/index.html
住友林業株式会社	針」を定めて取り組んでいる。具体的には、全社有林での森林認証の取得、環境保全を重視する環境林の設定、生態系に大きな影響を及ぼすような極端な施業の禁止、生物多様性豊かな水辺を保全する水辺林保全管理マニュアルの制定と運用、社有林に生息する可能性のある動植物をまとめたレッドデータブックの作成と従業員教育など	目標7	3-1	http://sfc.jp/information/society/environment/performance/preservation/preservation02.html CSRレポート2014

清水建設株式会社	宗教法人生長の家“森の中のオフィス”では地元山梨県産材のFSC認証の地産地消木材を丸太にして4万本以上調達。流通から工事まで綿密に管理し、大規模木造建築物では日本初のFSCの全体プロジェクト認証を取得。	目標7	3-1	http://www.shimz.co.jp/csr/environment/report/report2013.html シミズCSR報告書2013 p33
凸版印刷株式会社	2002年に、商業印刷分野で森林認証制度FSC COC認証を取得して以降、認証取得範囲の拡大に取り組んでいます。2012年度には、紙製容器包装分野の伊丹工場と三ヶ日工場が、FSCとPEFCのCOC認証を取得しました。	目標7	3-1	TOPPAN CSRLレポート2013 P31 「持続可能な消費への貢献」
日本製粉株式会社	冷凍食品(パスタ)の紙トレーにPEFC認証紙を使用しています。2014年6月末現在で55アイテムになりました。	目標7	3-1	2013年社会・環境報告書(2013年10月発行) http://www.nippon.co.jp/csr/report/index.html
日本たばこ産業株式会社	ブラジルにおける農業生物多様性の取り組み:葉たばこ農場における生物多様性の取り組みを始めている。経済的に成り立ち、社会的に受け入れられ、環境的に持続可能なたばこ生産システムを確立することを目標にし、ブラジルの自社農業研究施設であるADETセンターで、葉たばこの耕作地に関する基礎研究を基に、地元の大学やNGOとともにモニタリングと研究を行っている。	目標7	3-1	http://www.jti.co.jp/csr/report/FY2013/pdf/JTG_Sustainability_Report_FY2013_JP.pdf
日本水産株式会社	ぶりの人工種苗生産による事業化を確立し、天然稚魚の割合を減らす	目標7	3-1	2013年環境報告書P4-5 2012年環境報告書P8-9
スズキ株式会社	「スズキ下川テストコースの森林」 スズキテストコースは、北海道北部の森林が90%を占める下川町にあります。下川町は2003年に北海道で初めて国際的なFSC®森林管理グループ認証を取得し、テストコース敷地に含まれる約303haの森林も2006年に追加認証されました。(FSC® C015134) また、スズキは「法人の森林」制度を1997年から2029年まで林野庁と契約し、下川町内の国有林(樹木3,200本)を分収育林しています。	目標7	3-2	スズキ環境・社会レポート2013 (環境への取り組み、地域との共生) http://www.suzuki.co.jp/about/csr/report/2013/pdf/2013_envj_03_05.pdf
旭硝子株式会社	「間伐に寄与する紙」を積極的に利用。環境NPOオフィス町内会が行っている「森の町内会一問伐に寄与する紙」を社内外の印刷物向けなどに購入・使用することで、健全な森林の回復に間接的に貢献しています。	目標7	4-1	http://www.agc.com/csr/env/act/biodiversity.html
阪和興業株式会社	間伐材の有効活用について、宮崎、大分、鹿児島、静岡、新潟、青森、東京などの自治体や林業者との協力体制のもと、間伐材の輸出促進に協力し、海外ユーザーの開拓や用途開発を実施。	目標7	4-1	環境CSR報告書2013 P17 http://www.hanwa.co.jp/company/report/index.html
凸版印刷株式会社	「カートカン」、「エコフラットカップ」は、用紙に間伐材を含む国産材を30%以上使用した紙製飲料容器です。トッパンでは間伐材の積極的な利用により、国内森林保全への貢献を行っています。	目標7	4-1	TOPPAN CSRLレポート2012 P46 「生物多様性保全の取り組み」 TOPPAN CSRLレポート2013 P31 「持続可能な消費への貢献」
新日鐵住金株式会社	当社は、福島県相馬地域において東日本大震災に伴う津波被害農地の除塩対策に取り組まれる東京農業大学に対して、復興支援の観点で踏まえ、転炉スラグ肥料を約20トン無償提供し、研究に協力して参りました。2011年5月よりイチゴハウス、同年9月より水田1.7haに対して転炉スラグ肥料を施肥した結果、同肥料が迅速かつ効率的な除塩に極めて有効な方法であることが実証され、相馬方式(東京農大方式)を確立しています。	目標7	6-1	http://www.nssmc.com/product/slag/index.html http://www.nssmc.com/news/20130308_100.pdf

日本製粉株式会社	JA全農あきたが米粉用米を低農薬で栽培することに賛同し、農家の皆さんと田んぼの生きもの調査を継続して行っています。	目標7	6-1	2013年社会・環境報告書(2013年10月発行) http://www.nippn.co.jp/csr/report/index.html
マツダ株式会社	2010年に広島県と森林保全活動に協力する「森林保全・管理協定」を締結し、広島県緑化センター(広島市東区)内の「マツダの森(愛称)」を中心に地域の森林保全活動に協力している。また同時に「ひろしま森林(もり)づくりフォーラム」に加入し、広島県内の森林関係団体などと連携し「企業の森づくり」を推進している。また、山口県では県が主催する「企業との協働に	目標7	6-1	マツダサステナビリティレポート2014(P85、P92 地域の森林保全活動に協力) http://www.mazda.com/jp/csr/download/pdf/2014/2014_s_p84.pdf
株式会社八十二銀行	長野県が公募した戸隠森林植物園内にある森林学習館のネーミングライツ(命名権)を取得し、平成24年7月1日から森林学習館の名称を「八十二森のまなびや～ecology Bank82 戸隠森林館～」といたしました。長野県の自然の素晴らしさを県内外に伝え、より一層、環境保全の重要性・必要性の啓蒙をしていきたいと考えております。	目標7	7-2	0
積水化学工業(株)	生産事業所の排水管理の方法として、2事業所に対してWET評価を行った。その結果、2事業所とも生態系への影響が見られないレベルの排水であることを確認した。	目標8	3-1	http://www.sekisui.co.jp/csr/report/index.html 2014CSRレポートp22
日本郵船	当社グループは、シップリサイクル条約で定められた、船上に存在する有害物質の量・設置場所などを記載したリストを作成し、本船への配備を進めています。解撤にあたっては、「安定的な解撤スペースの確保」と「環境に優しい解撤実施」を基本に、独自の解撤方針を定め、環境だけではなく労働安全にも配慮した解撤ヤードを選定しています。当社独自の解撤売船契約書を用い、引き渡し後はその契約に基づいた、安全・環境への対応状況を適宜現場視察し確認しています。	目標8	4-1	NYKレポート2014 P56
前田建設工業株式会社	平等院の阿字池の底質安定化処理 世界遺産「平等院鳳凰堂」を囲むように浄土式庭園を形成する阿字池では、池水の淀みと周辺庭園からの栄養塩類の流入などにより、水温の高まる夏季に藻類が繁茂して景観を損ねる状況が散見された。そこで、水質を改善するために池底に堆積した底質の表層を除去したのち、歴史的遺構として残置する堆積層を安定化処理する工事を行い、生態系の保全を	目標8	5-2	CSR報告書2014 p47-48
大成建設株式会社	バイオトープの開発 都市部のバイオトープにおいて、自然由来の原料から製作した吸着材を用いて栄養塩除去を行うことで、生	目標8	5-2	コーポレートレポートP28 http://www.taisei.co.jp/about_us/csr/corp_report/2014/ebook01/SWF.W
株式会社リコー	グローバルに生物多様性に配慮した事業所の敷地管理を行うという行動計画をたてて進めている。具体的には外来種駆除、低農薬など。	目標9	3-1	http://www.ricoh.com/ja/ecology/biodiversity/contribution/04_01.html
株式会社滋賀銀行	「外来魚駆除・釣りボランティア」 琵琶湖の外来魚を釣り駆除、生態系を守る活動。	目標9	3-1	1月0日
出光興産株式会社	外航タンカーの出港時にバラスト水として積み込んだ海水を、航海途中で生態系への影響が少ない大洋の海水と入れ替えることで、寄港地水域の生態系を乱さないよう対応しており、さらに、2010年度からは、バラ	目標9	3-1	同上
川崎汽船株式会社	バラスト水の保有を最小化する船舶の導入やバラスト水管理条約発効に備えたバラスト水処理装置を搭載。	目標9	3-1	http://www.kline.co.jp/csr/environment/biodiversity.html
川崎汽船株式会社	環境に優しい無毒型の船底塗料を使用。	目標9	3-1	http://www.kline.co.jp/csr/environment/biodiversity.html
日本郵船	当社では、バラスト水管理条約の発効に先駆けて、2010年9月に自動車専用船“Emerald Leader”に国土交通省の型式承認を受けたバラスト水処理装置を当社運航船として初めて搭載しました。2014年3月末現在、46隻への搭載が完了しており、今後も条約の批准状況に視しながら自動車専用船やばら積み船など、保有・管理する船舶への搭載を進めていきます。	目標9	3-1	NYKレポート2014 P56

川崎汽船株式会社	当社保有林での里山保全活動。	目標9	3-3	http://www.kline.co.jp/csr/news/detail/1197420_1694.html
日本生命保険相互会社	平成4年からニッセイ緑の財団とともに環境や生態系に配慮した多彩な森づくりを実施。【43都道府県187か所 435ha】 当社職員やその家族、地域の方々がボランティアとして参加し、植樹や育樹(下草刈り・除伐等)を行っている。【22年間で約3万名が参加】環境意識の啓発にもつなげている。			http://www.nissay.co.jp/kaisha/csr/kankyo/#anc01
日本生命保険相互会社	子どもたちが自然観察等を通じて森に親しみ、大切な森を守るために必要な作業(除伐等)を体験できる場を提供。【H25:86名参加】			http://www.nissay.co.jp/kaisha/csr/kankyo/#anc01
日本生命保険相互会社	全国の「学校の森(森林体験)」実践校を対象とした「学校の森フォーラム」を平成26年度に開設。自然を活かした体験学習を通じて「生きる力」の涵養を目指す「学校の森」実践校の取組をよりよいものにしていくこと、また実践校を増やしていくことを目的とする。シンポジウムの開催・運営も行う。			http://www.nissay-midori.jp/people/forum.html